

## 令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：長野県

農業委員会名：飯田市農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

任期満了年月日 令和8年7月19日

|            | 農業委員 |    |
|------------|------|----|
|            | 定数   | 実数 |
| 農業委員数      | 19   | 19 |
| 認定農業者      | —    | 10 |
| 認定農業者に準ずる者 | —    | 0  |
| 女性         | —    | 2  |
| 40代以下      | —    | 0  |
| 中立委員       | —    | 1  |

|             | 定数 | 実数 | 担当区域数 |
|-------------|----|----|-------|
| 農地利用最適化推進委員 | 19 | 19 | 16    |

## 2 農家・農地等の概要

|        | 経営体数  |
|--------|-------|
| 総農家数   | 4,006 |
| 農業経営体数 | 1,752 |

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

|           | 農業者数(人) |
|-----------|---------|
| 基幹的農業従事者数 | 2,683   |
| 女性        | 1,218   |
| 40代以下     | 241     |

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

|           | 経営体数(経営体) |
|-----------|-----------|
| 認定農業者     | 228       |
| 基本構想水準到達者 | 315       |
| 認定新規就農者   | 14        |
| 農業参入法人    | 6         |
| 集落営農経営    | 2         |
| 特定農業団体    | 0         |
| 集落営農組織    | 2         |

※農業委員会調べ

単位:ha

|      | 田   | 畑     |     |     |     | 計     |
|------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|
|      |     |       | 普通畑 | 樹園地 | 牧草畑 |       |
| 耕地面積 | 999 | 1,910 |     |     |     | 2,910 |

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の実施状況

## 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 最適化活動の成果目標

## (1) 農地の集積

## ① 現状及び課題

| 現状 | 管内の農地面積(A)   |    | これまでの集積面積(B) |    | 集積率(B)／(A) |   |
|----|--|----|--------------|----|------------|---|
|    | 2,910  | ha | 808          | ha | 27.8       | % |
| 課題 | 農地の確保・有効利用を図る上で、農業従事者の減少及び高齢化による耕作放棄地の増加が課題となっている。中山間地では、進入路が狭い、或いは農地が狭隘で機械が入れない等の圃場が多いため、作業効率が低下しており、早急に対策を講じる必要がある。また、不在地主や未相続の農地が増加していることも課題となっている。 |    |              |    |            |   |

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

|                  |        |                             |         |
|------------------|--------|-----------------------------|---------|
| 農地の集積の目標年度       | 令和10年度 | 集積率                         | 55.0%   |
| 今年度の新規集積面積       | 30ha   | 農地面積(C)                     | 2,910ha |
| 今年度末の集積面積(累計)(D) | 747ha  | (目標)今年度末の集積率<br>(E)=(D)/(C) | 25.7%   |

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

|                   |        |                         |         |
|-------------------|--------|-------------------------|---------|
| 今年度の新規集積面積        | 93ha   | 農地面積(F)                 | 2,910ha |
| 今年度末の集積面積(累計)(G)  | 808ha  | 今年度末の集積率<br>(H)=(G)/(F) | 27.8%   |
| 目標に対する達成状況(H)/(E) | 108.2% |                         |         |

|            |  |
|------------|--|
| 農業委員会の点検結果 | 昨年より担い手の数を増やすことで、集積面積を目標より大きく増やすことができた。更なる農地集積のためには、地区外からの掘り起こしも含め、更に担い手を増やす必要がある。 |
|------------|--|

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2)遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

|    |  |              |              |
|----|--|--------------|--------------|
| 現状 | 直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況  |              |              |
|    | 1号遊休農地面積   | うち緑区分の遊休農地面積 | うち黄区分の遊休農地面積 |
|    | 281.2ha  | 192.9ha      | 88.3ha       |
|    | 農業従事者の減少及び高齢化に加え、当市には、戦後急傾斜地を桑園として開墾し利用してきた歴史的背景があり、今後農地に復旧することが困難と見られる農地が多数存在する。そのため、農地パトロールや利用意向調査を活用し、非農地判断も積極的に行いながら、土地利用の適否についての見極めを計画的に進める必要がある。 |              |              |

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積 | 159.5ha |
| 緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)         | 31.9ha  |

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 令和4年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地 | 50.5ha   |
| 黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針  | ・周囲の農地と一体利用できないか、毎年実施する農地パトロールで確認する。<br>・農地パトロールや利用意向調査を活用し、非農地判断を積極的に行いながら、土地利用の適否についての見極めを計画的に進める。 |

イ 新規発生遊休農地の解消

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| 前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積 | 26.9ha |
|---------------------------|--------|

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D) | 22.0ha |
| 今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)  | 69.0%  |

b 黄区分の遊休農地の解消

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況 | ・周囲の農地と一体利用できないか、周囲の耕作者の意向を確認する。<br>・農地パトロールや利用意向調査を活用し、非農地判断を積極的に行いながら、土地利用の適否についての見極めを計画的に進める。 |
|-------------------------|--|

イ 新規発生遊休農地の解消

|                           |     |    |
|---------------------------|-----|----|
| 前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積 | 1.1 | ha |
|---------------------------|-----|----|

④その他

| 農地の利用状況調査 | 調査実施時期    |          | 調査結果取りまとめ時期 |          |
|-----------|-----------|----------|-------------|----------|
|           | R5.8～10   |          | R5.11～12    |          |
|           | 1号遊休農地の面積 | 281.2 ha | うち緑区分の遊休農地  | 192.9 ha |
|           |           |          | うち黄区分の遊休農地  | 88.3 ha  |
| 農地の利用意向調査 | 調査実施時期    |          | 調査結果取りまとめ時期 |          |
|           | R6.3      |          | R6.4        |          |

|            |   |
|------------|---|
| 農業委員会の点検結果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の高齢化が進むと、自宅に近い等、耕作条件のよい農地を中心に、農地の維持を考える傾向が見られる。</li> <li>・自宅から離れるほど、自分として「もう少し頑張ろう」と考えていても、近隣農地の荒廃を理由に耕作意欲が減退し、一気に遊休荒廃化が進んでしまう傾向も見られる。</li> </ul> |
|------------|---|

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

| 現状 | 令和3年度新規参入者   | 令和4年度新規参入者 | 令和5年度新規参入者 |
|----|--|------------|------------|
|    | 3 経営体  | 4 経営体      | 2 経営体      |
|    | 0.9 ha   | 1.3 ha     | 0.5 ha     |
| 課題 | 新規参入者に対しては、全国的に見ると各市町村が独自の就農支援プログラムや支援策を用意して取り組んでいる中で、当市の施策はまだ十分とはいえない状況にあると思われる。市やJA等関係機関との連携を更に深め、特色ある施策を用意し、全国に発信する必要がある。 |            |            |

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

| 権利移動面積                                  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 平均     |
|---|--------|--------|--------|--------|
|   | 0.2 ha | 0.2 ha | 0.2 ha | 0.2 ha |
| 新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A) | 5.0 ha |        |        |        |

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

|   |  |
|---|--|
| 新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B) | 5.7 ha   |
| 公表URL                                   | <a href="https://www.city.iida.lg.jp/site/nbank/noutibankakinouti.htm">https://www.city.iida.lg.jp/site/nbank/noutibankakinouti.htm</a> (その他の公表方法) |
| 目標に対する達成状況(B)/(A)                       | 114.0 %  |
| (参考)新規参入者の参入状況                          | 参入経営体数   |
|   | 取得農地面積   |
|   | 2 経営体  |
|   | 0.5 ha   |

|            |   |
|------------|---|
| 農業委員会の点検結果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者の減少及び高齢化により、耕作されない農地が徐々に増えてきており、新たな耕作者を探すのに苦慮している。</li> <li>・新規就農希望者は、初期投資を抑えるため、既存の樹園地や施設を希望するケースが多く、農地等が限定されてしまう。</li> </ul> |
|------------|---|

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

| 1人当たりの活動日数 | 10 日/月 | 最適化活動を行う農業委員の人数 | 19 人 |
|------------|--------|-----------------|------|
|            |        | 農地利用最適化推進委員の人数  | 19 人 |

(2)活動強化月間の設定

①目標

|             |     |
|-------------|-----|
| 活動強化月間の設定回数 | 3 回 |
|-------------|-----|

| 取組時期    | 取組項目         | 強化月間の内容  |
|---------|--------------|--|
| 令和5年12月 | 農地の集積        | 市と連携し、全ての認定農業者に対し、規模拡大の意向があるか確認する。                   |
| 令和6年1月  | 遊休農地の発生防止・解消 | 各委員は、農地パトロールで見つけた遊休農地の隣接耕作者を中心に、規模拡大や集積等の意向があるか確認する。 |
| 令和6年2月  | 新規参入の促進      | 各委員は、農地パトロールで見つけた遊休農地の所有者に、新規就農者への貸付意向があるか確認する。      |
|         |              |  |
|         |              |  |

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

## ②実績

|             |     |
|-------------|-----|
| 活動強化月間の設定回数 | 3 回 |
|-------------|-----|

| 取組時期    | 取組項目         | 強化月間の結果   |
|---------|--------------|---|
| 令和5年12月 | 農地の集積        | 認定農業者に対して、機会あるごとに規模拡大の意向があるか確認したが、全ての認定農業者には確認できなかった。   |
| 令和6年1月  | 遊休農地の発生防止・解消 | 隣接耕作者に声掛けしても、現状維持がせいぜいで、なかなか規模拡大や集積を目指す意向を持つ者は見つからなかった。 |
| 令和6年2月  | 新規参入の促進      | 遊休農地所有者のほとんどは、「耕作してくれれば誰でもよい」との意向を持っている。                |
|         |              |   |
|         |              |   |

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

## (3)新規参入相談会への参加

### ①目標

|               |     |
|---------------|-----|
| 新規参入相談会への参加回数 | 1 回 |
|---------------|-----|

|        |   |      |              |
|--------|---|------|--------------|
| 開催時期   | 令和5年6月  | 相談会名 | 南信州管内就農相談会   |
| 参加者数   | 1人  | 開催場所 | JAみなみ信州本所会議室 |
| 相談会の内容 | UターンやIターンにより新規就農を希望、検討する人に対し、市、JA及び近隣町村と連携し、営農に対する指導や金銭面での支援に加え、住居等生活に関する情報を提供する相談会を実施する。 |      |              |
| 開催時期   |   | 相談会名 |              |
| 参加者数   |   | 開催場所 |              |
| 相談会の内容 |   |      |              |

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

### ②実績

|               |     |
|---------------|-----|
| 新規参入相談会への参加回数 | 1 回 |
|---------------|-----|

|        |   |      |              |
|--------|---|------|--------------|
| 開催時期   | 令和5年6月  | 相談会名 | 南信州管内就農相談会   |
| 参加者数   | 1人  | 開催場所 | JAみなみ信州本所会議室 |
| 相談会の内容 | UターンやIターンにより新規就農を希望、検討する人に対し、市、JA及び近隣町村と連携し、営農に対する指導や金銭面での支援に加え、住居等生活に関する情報を提供する相談会を実施した。 |      |              |
| 開催時期   |   | 相談会名 |              |
| 参加者数   |   | 開催場所 |              |
| 相談会の内容 |   |      |              |

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

|                     |
|---------------------|
| 目標に対して期待どおりの結果が得られた |
|---------------------|

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

| 評語                     | 推進委員等の人数 |
|------------------------|----------|
| 目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた  |          |
| 目標に対し期待を上回る結果が得られた     |          |
| 目標に対して期待どおりの結果が得られた    | 38       |
| 目標に対して期待を(やや)下回る結果となった |          |

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入

### Ⅲ 事務の実施状況

都 道 府 県 名 : 長野県  
農 業 委 員 会 名 : 飯田市農業委員会

#### 1 総会、部会の開催実績

|              | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考(定例開催以外の理由)  |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----------------|
| 全員総会         | 1  |    |    | 1  |    |    |     |     |     |    |    | 1  | 7月は委員改選に伴う臨時総会 |
| 定例部会         | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  |                |
| 農地利用最適化推進委員会 | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |    | 1   |     | 1   | 1  |    | 1  |                |

※ 総会又は部会の月ごとの開催回数を記入

#### 2 農地法第3条に基づく許可事務

|          |          |        |         |           |          |       |
|----------|----------|--------|---------|-----------|----------|-------|
| 1年間の処理件数 |          | 79 件   | うち許可    | 79 件      |          |       |
| 処理期間     | 実施状況     | 標準処理期間 | 申請書受理から | 25 日      | 処理期間(平均) | 25 日  |
|          | 総会開催日の公表 | 公表している | していない   | 申請書締切日の公表 | 公表している   | していない |

#### 3 農地転用に関する事務

|                        |   |                                   |         |       |          |      |
|------------------------|---|-----------------------------------|---------|-------|----------|------|
| 権限移譲の状況<br>(当てはまるものに○) | ○ | ・農地法第4条第1項の規定に基づく指定市町村に指定         |         |       |          |      |
|                        |   | ・地方自治法第252条の17の2第1項に基づき市町村長へ事務委任  |         |       |          |      |
|                        |   | ・地方自治法第180条の2に基づき市町村長から農業委員会へ事務委任 |         |       |          |      |
| 1年間の処理件数               |   | 318 件                             | うち許可相当  | 318 件 | うち不許可相当  | 0 件  |
| 処理期間                   |   | 標準処理期間                            | 申請書受理から | 25 日  | 処理期間(平均) | 25 日 |

#### 4 違反転用への対応

|                    |  |              |
|--------------------|--|--------------|
| 現 状                | 管内の農地面積  | 年度末時点の違反転用面積 |
|                    | 2,910 ha   | 0 ha         |
| 違反転用解消のために実施した活動内容 | ・長野県行政書士会飯田支部の研修会に講師として出席<br>・農地を転用するには農業委員会の許可が必要であることの広報(ポスター) |              |
| 実 績                | 違反転用解消面積 ha  |              |

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 違反転用面積は、管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定に違反して転用されている農地の面積を記入

※3 活動内容は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等について具体的に記入